

**UNLIMITED**

Personal Watercraft Performance Products

## スパークボルテージブースターキット



お買い上げありがとうございます。  
安全にご使用いただくために、注意事項を必ずご確認ください。

手順5) 確実にアーシングできていることをご確認ください。

### ★確認方法★

巻きつけた導電性チューブ両端 (IGコイル側とプラグキャップ側) とバッテリー・アース端子間の導通を確認する。導通がない場合は、下記内容で順をおってチェックして下さい。

【1】導電性スパイラルチューブ両端の導通を確認。

導通有り: 導電性スパイラルチューブに問題なし

導通無し: 導電性スパイラルチューブに問題あり

【2】導電性スパイラルチューブとアースコード (M6端子側) の導通を確認。

導通有り: スパークボルテージブースターに異常なし

※アースコード取り付け部のチェックまたは取り付け個所の変更を検討下さい。

導通無し: スパークボルテージブースターに異常あり

※導電性クランプが確実に固定されていない。

※導電性クランプまたはアースコードの導電不良。

## ■取付後の点検

1、ラグ放電電圧の変化は燃焼状態に影響を及ぼすことが推測されます。

燃焼状態確認のため装着後は、プラグチェックを行いプラグ熱価やキャブレターセッティングの再検討を必ず行なって下さい。

2、使用条件によってはスパイラルチューブ・メッキ層に損傷等がおこり、導通不良が発生することがありますので、定期的に導電性スパイラルチューブ両端 (IGコイル側とプラグキャップ側) とバッテリー・アース端子間の導通を確認して下さい。

**UNLIMITED**

三重県四日市市羽津919-2 〒510-0012  
[代表] 059-365-1002 [FAX] 059-364-4175  
E-mail info@unlimited.pwc.com

### 取扱説明書(必ずお読み下さい)

### ■構成部品内容



①	導電性チューブ340mm	×1
	導電性チューブ500mm	×1
	導電性チューブ620mm	×1
	導電性チューブ700mm	×1
②	導電性コードクランプ	×4
③	アースコード(180mm)	×4
④	取付用ネジ・ナット・スペーサー	×4
	結束バンド	×8

### ■取付作業の注意事項

取付はメーカー発行のサービスマニュアルに基づき、確かな知識及び技術を持ったメカニックで行なって下さい。

この製品は競技用目的に企画・製作されているため、艇体・機関等へのクレーム保証はございませんのでご注意ください。

- 1) 目的にあった正しい取り付け、関連法令を遵守の上で使用下さい。
- 2) 上記を外れたその他の使用においては、商品の品質は保証することは出来ません。
- 3) 製品には、鋭利な箇所があるため防具を使用して取付を行なって下さい。

#### 取付前

- 4) エンジン停止後バッテリーを外し、エンジンが始動しない状態かを確認の上、作業を行なって下さい。  
また、エンジン、その他部品の温度が十分に低くなった状態であることを確認して下さい。
- 5) 通気・換気設備のある場所で、ガソリン等有機溶剤で中毒が起こらない環境であることを確認して下さい。
- 6) 製品取り付けにより船内浸水のトラブル、排気漏れが発生する場合があります。  
もし、トラブルが発生しましても当社としては一切補償はできません。

#### 取付後

- 7) 必ず陸上でウォータークラフトのステアリングの動作に問題が無いかを確認した上で使用し、  
問題が発見された場合は、直ちにウォータークラフトの使用を中止し、問題改善を行なって下さい。

### ■取付作業方法

**!** 各モデルのサービスマニュアルを参照して下さい。

※全ての作業については適正な工具をご使用下さい。  
適切な設備がない、又は機械の取り付けに熟知していない場合は必ず経験・知識のある販売店、  
又はPWC専門店に相談し、作業の依頼をして下さい。

**手順1)** プラグコード(ハイテンションコード)に「①導電性チューブ」を巻きつけ、両端を「結束バンド」で固定。  
※プラグコードと導電性チューブになるべく隙間が出来ないように巻きつけて下さい。  
※作業が困難な場合は、イグニッションコイルからプラグコードを外して作業することをお勧めします。  
※メッキががれは導通不良の原因となります、導電性チューブの取扱いは丁寧にこなして下さい。

**手順2)** 「①導電性チューブ」に「②導電性コードクランプ」を付属の「④M4ネジ&ナット」にて、「③アースコード(M4端子側)」とともに仮固定。  
※プラグコード外径がΦ8mm以上の場合…ネジ締結部に付属のスペーサーを使用する事で、より固定しやすくなります。ただし、付属スペーサーの使用により導電性コードクランプが確実に固定できない場合、アース不良の原因となりますので、ネジ締結部に付属のカラーを使用しないで下さい。



●イグニッションコイルからプラグコードを外した場合…

**手順3)** 製品を取付けたプラグコードを本体に確実に装着する。

**手順4)** コードクランプ位置を調節し、アースコード(M6端子側)を、エンジンまたはマイナスバッテリー端子などの適切な(確実にアースが取れる)場所に固定する。  
※アース不良の原因となりますので、コードクランプが導電性チューブを動かないよう固定して下さい。

- ※1 電装ボックス等の電装品・ノイズと相性が悪い部品にはアースコードは絶対に接続しないで下さい。
- ※2 高温になるものやフェューエルラインにアース線がプラグコード・導電性スパイラルチューブが接触しないよう、プラグコードの取り回しにご注意ください。

**手順5)** 裏面へ続く

